

東海国立大学機構 カーボンニュートラル推進室 脱炭素社会の創造に向けた第2回シンポジウム 『総合知を活かした新たなアプローチ』

東海国立大学機構では、「2030年に温室効果ガス51%(2013年比)以上削減し、2050年までのできるだけ早い時期にカーボンニュートラル実現」という目標を立てています。そして、カーボンニュートラル推進室では、2022年9月、シンポジウム「脱炭素社会の創造に向けた大学の役割」を開催し、「分野を超えた知の結集」と「総合知の提供」について議論しました。これに引き続き、今回は、「総合知を活かした新たなアプローチ」をテーマに、東海国立大学機構の教員によるカーボンニュートラル実現のための新たな取り組みを紹介し、また、産業界から見た大学への期待を示していただく場とします。

令和 5 年 3 月 10 日(金) 13:00~16:40

会場:名古屋大学東山キャンパス ES総合館 ESホール

主催:東海国立大学機構 カーボンニュートラル推進室

後援:一般社団法人 中部経済連合会

定員:会場参加100名・zoom500名先着順 [3月7日(火)締切]

受付フォームからお申し込みください

<https://forms.gle/hwwYGGpe3ZKXPmiFA>



対象:カーボンニュートラルにご関心のある企業、自治体、大学等の関係者

プログラム

第1部

●オープニング

13:00 - 13:15 『総合知を活かす新たなアプローチ』

- 西澤 泰彦 東海国立大学機構カーボンニュートラル推進室長
名古屋大学 未来社会創造機構 脱炭素社会創造センター長

●講演

13:20 - 13:45 『カーボンニュートラルに向けたCO₂回収・除去・活用技術の研究開発』

- 則永 行庸 名古屋大学 未来社会創造機構 脱炭素社会創造センター教授

13:50 - 14:15 『温熱利用サーマルトランジスタによる熱の高エクセルギー化』

- 板谷 義紀 岐阜大学 高等研究院
脱炭素・環境エネルギー研究連携支援センター教授

14:20 - 14:45 『バーチャルグリッドー実現性のあるカーボンニュートラル(CN)システムとはー』

- 中川 二彦 岐阜大学 高等研究院
地方創生エネルギーシステム研究センター特任教授

14:50 - 15:15 『気候変動の歴史と人間社会の適応可能性』

- 中塚 武 名古屋大学 未来社会創造機構 脱炭素社会創造センター教授

15:20 - 15:35 『産業界からの脱炭素社会創造への期待』

- 黒柳 考司 一般社団法人 中部経済連合会 審議役
産業振興部長兼エネルギー・環境部長

●閉会

15:35 - 15:40 ●松尾 清一 東海国立大学機構長

第2部

●フリートークテーブル (意見交換会)

15:40 - 16:40 会場:ES総合館エントランス

講演者のポスター展示、大学・企業参加者の交流、意見交換を行います。